

# 第60回 秋田県スポーツ推進委員研究大会

6月10日、11日に琴丘総合体育館を主会場に研究大会が開催されました。県全域のスポーツ推進委員など330人余りが参加されました。研究大会では、委員を10年間務めた17人に対して功労者表彰を行いました。アトラクションでは、三種町の長信田太鼓が迫力のあるステージで大会を盛り上げてくれました。記念講演では、三種町と体育・スポーツ振興に関する協定を結んでいる日本体育大学より、別府健至氏にお越し頂きました。別府氏は同大の駅伝監督を16年間務め、平成25年には箱根駅伝での総合優勝を果たしました。「スポーツが育てる人間と地域」箱根駅伝から学ぶ人間づくり」と題して、総合優勝するまでの1年間にスポットを当てて講演されました。研究協議会では、「地域活力が育む地域スポーツとは」と題して3人の発表者の事例をもとに、会場全体でテーマに対して意見を交換しました。2日目の実技研修では、三種町でしか体験のできない「クアオルトウオーキング」と「じゅんさい摘み採り体験」を行いました。「クアオルトウオーキング」には日体大の別府氏も参加され、「初めて体験したが、ウオーキングの途中に様々な景色や体験があっても楽しかった。」と満足されていました。

